

三重県内経済情勢（平成 25 年 10 月の指標から）

及び

三重県景気動向指数（平成 25 年 10 月分）の概要

平成 25 年 12 月 27 日

三重県戦略企画部統計課 分析・情報班

三重県内経済情勢（平成 25 年 10 月の指標から）
及び 三重県景気動向指数（平成 25 年 10 月分）の概要

< 目次 >

I. 三重県内経済情勢（平成 25 年 10 月の指標から）	
1. 三重県内経済情勢（平成 25 年 10 月の指標から）概況	1
2. 主要経済指標の動き	2
3. 景気動向指数	4
4. 主要経済指標（統計表）	5
II. 三重県景気動向指数（平成 25 年 10 月分）の概要	
■ C I（コンポジット・インデックス）の概要	9
1. C I 先行指数の動向	10
2. C I 一致指数の動向	11
3. C I 遅行指数の動向	12
4. C I グラフ	13
5. C I 指数表	14
■ D I（ディフュージョン・インデックス）の概要	15
6. D I グラフ	16
7. D I 指数表	17
8. 個別系列の数値	18
9. D I 変化方向表	19
10. 累積D I 指数グラフ	20
11. 利用の手引き	21
12. C I を用いた景気の基調判断の基準	23

< 連絡先 >

三重県戦略企画部統計課 分析・情報班

担当：丸岡

電話番号：059-224-3051 FAX：059-224-2046

三重県内経済情勢（平成 25 年 10 月の指標から）

県内経済は、持ち直している。

（生産は、回復が一服している。個人消費は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善している。）

1. 概況

（生産）

鉱工業生産指数は、4 か月ぶりに低下した。【図 1】

（消費）

大型小売店販売額（既存店調整値）は、2 か月連続で前年同月比増となった。【図 2】

コンビニエンスストア販売額（中部 5 県全店値）は 8 か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（中部 8 県全店値）は 2 か月ぶりに前年同月比増となった。

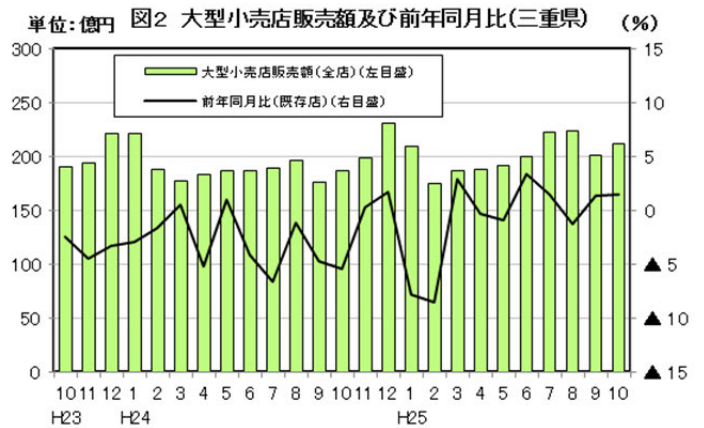
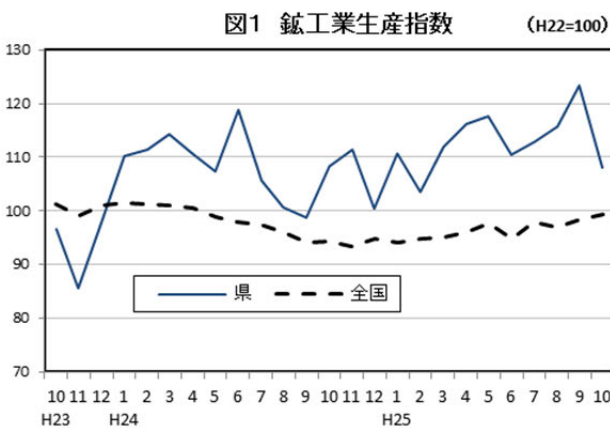
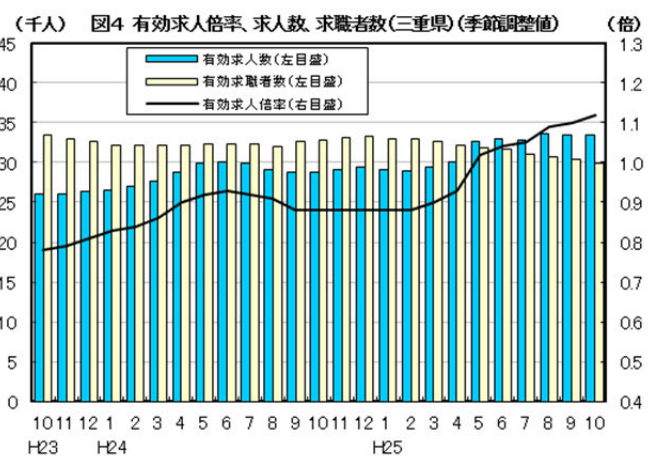
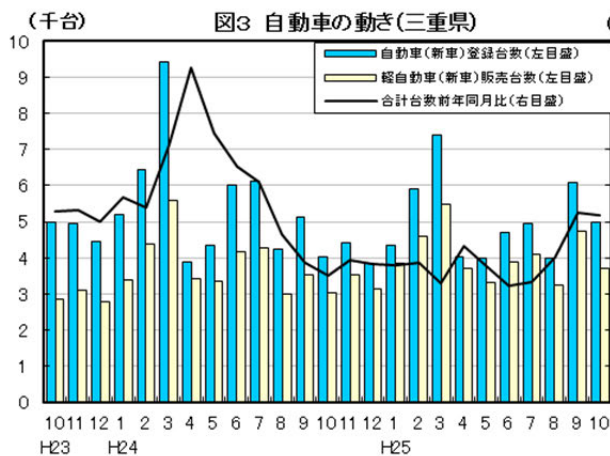
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は 2 か月連続で前年同月比増となり、軽自動車（新車）販売台数は 3 か月連続で前年同月比増となった。【図 3】

新設住宅着工戸数は、2 か月連続で前年同月比増となった。

（雇用）

有効求人倍率は 1.12 倍となり、前月を上回った。【図 4】

所定外労働時間指数は 3 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 2 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 7 か月連続で前年同月比増となった。



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H22=100）は108.0となり、前月比12.4%減と4か月ぶりに低下した。
- ・ 県内ウエイト上位3業種では、電子部品・デバイス工業(131.6)が前月比6.0%減、輸送機械工業(116.0)が前月比12.4%減、化学工業(86.1)が前月比5.4%減となった。
- ・ 鉱工業生産者製品在庫指数（H22=100）は101.2で、前月比5.9%減と2か月ぶりに低下した。

		H25年7月	8月	9月	10月
鉱工業生産指数	指数	112.9	115.6	123.3	108.0
	前月比、%	2.2	2.4	6.7	▲12.4
（電子部品・デバイス工業）	指数	135.4	130.8	140.0	131.6
	前月比、%	13.5	▲3.4	7.0	▲6.0
（輸送機械工業）	指数	116.9	127.3	132.4	116.0
	前月比、%	2.8	8.9	4.0	▲12.4
（化学工業）	指数	92.0	94.8	91.0	86.1
	前月比、%	▲0.4	3.0	▲4.0	▲5.4
鉱工業生産指数（全国）	指数	97.9	97.0	98.3	99.3
	前月比、%	3.4	▲0.9	1.3	1.0
鉱工業生産者製品在庫指数	指数	109.3	104.3	107.5	101.2
	前月比、%	▲7.3	▲4.6	3.1	▲5.9

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比1.4%増となり2か月連続で増加した。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の中部5県の全店値）は8か月連続で前年同月比増となり、家電販売額（富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、長野の中部8県の全店値）は2か月ぶりに前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比23.8%増と2か月連続で増加し、軽自動車（新車）販売台数は前年同月比22.8%増と3か月連続で増加した。全自動車（新車）では前年同月比23.4%増となり2か月連続で増加した。

		H25年7月	8月	9月	10月	
大型小売店販売額	(県内全店)	百万円	22,218	22,356	20,098	21,198
	(県内既存店)	前年同月比、%	1.5	▲1.3	1.3	1.4
	(全国全店)	億円	17,127	15,823	15,059	15,911
	(全国既存店)	前年同月比、%	▲1.6	▲0.1	0.7	▲0.1
コンビニエンスストア販売額（5県全店）		百万円	94,739	95,312	87,138	88,909
		前年同月比、%	6.0	6.1	5.4	5.7
家電販売額（8県全店）		前年同月比、%	▲10.9	4.7	▲2.3	3.6
自動車（新車） 登録台数	(県内)	台	4,935	3,989	6,089	4,983
		前年同月比、%	▲19.4	▲6.2	18.4	23.8
	(全国)	千台	284	217	324	265
		前年同月比、%	▲13.5	▲6.4	12.4	17.3
軽自動車（新車） 販売台数	(県内)	台	4,084	3,240	4,743	3,722
		前年同月比、%	▲4.8	8.6	34.8	22.8
	(全国)	千台	188	149	198	157
		前年同月比、%	1.7	7.9	25.4	17.4
自動車・軽自動車 合計	(県内)	台	9,019	7,229	10,832	8,705
		前年同月比、%	▲13.4	▲0.1	25.0	23.4
	(全国)	千台	472	367	523	422
		前年同月比、%	▲8.0	▲1.1	17.0	17.3

(3) 住宅建設

- ・新設住宅着工戸数は1,134戸で、前年同月比34.4%増と2か月連続で増加した。

		H25年7月	8月	9月	10月
新設住宅着工戸数	戸	895	786	860	1,134
	前年同月比、%	9.7	▲15.9	21.5	34.4
(持家)	戸	559	562	559	672
	前年同月比、%	1.6	10.4	5.9	23.1
(貸家)	戸	259	122	188	336
	前年同月比、%	33.5	▲44.5	54.1	92.0
(分譲住宅)	戸	75	100	106	124
	前年同月比、%	7.1	▲47.9	89.3	1.6

(4) 雇用情勢

- ・有効求人倍率は1.12倍となり前月を0.02ポイント上回った。
- ・所定外労働時間指数は124.3で、前年同月比13.7%増と3か月連続で上昇した。
- ・常用雇用指数は98.4で、前年同月比0.7%減となり2か月連続で低下した。
- ・名目賃金指数は87.5で、前年同月比0.8%増となり7か月連続で上昇した。
- ・完全失業率(全国値)は、4.0%で前月と同水準だった。

		H25年7月	8月	9月	10月
有効求人倍率	(三重県) 倍	1.05	1.09	1.10	1.12
	(全国) 倍	0.94	0.95	0.95	0.98
所定外労働時間指数 (H22=100)	指数	118.7	115.0	120.6	124.3
	前年同月比、%	0.0	6.1	8.5	13.7
常用雇用指数 (H22=100)	指数	98.9	99.2	98.6	98.4
	前年同月比、%	0.1	0.9	▲0.6	▲0.7
名目賃金指数 (H22=100)	指数	120.3	86.7	85.8	87.5
	前年同月比、%	0.8	0.7	0.5	0.8
完全失業率	(全国) %	3.8	4.1	4.0	4.0
	(三重県モデル推計値) %	3.2	3.2	3.2	..

※ 完全失業率(三重県:モデル推計値、%)の月別の数値は、1~3月期平均、4~6月期平均、7~9月期平均及び10~12月期平均を用いている。

※ 「..」は、本書作成時点で数値が公表されていないものを示す。

(5) 企業倒産

- ・企業倒産は10件発生した。負債総額は10億7千7百万円で、前年同月比は19.7%増となり4か月ぶりに増加した。

		H25年7月	8月	9月	10月
企業倒産件数	件	11	8	8	10
	前年同月比、%	▲15.4	▲42.9	▲42.9	100.0
負債総額	百万円	1,364	1,725	1,913	1,077
	前年同月比、%	▲75.5	▲24.3	▲21.6	19.7

(6) 消費者物価

- ・消費者物価指数(県内5市平均、H22=100)は101.1で、前月比0.1%増、前年同月比は1.0%増となった。

		H25年7月	8月	9月	10月		
消費者物価指数	(県内5市平均)	指数	100.6	100.9	101.0	101.1	
		前月比、%	0.1	0.3	0.1	0.1	
			前年同月比、%	0.8	0.7	0.9	1.0
	(全国)	指数	100.0	100.3	100.6	100.7	
前月比、%		0.2	0.3	0.3	0.1		
前年同月比、%		0.7	0.9	1.1	1.1		

※ 県内5市:津市、松阪市、桑名市、伊賀市、尾鷲市

3. 景気動向指数

・CI一致指数（景気の現状を示す指標）は108.8となり、前月と比較して0.3ポイント上昇した。CI一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

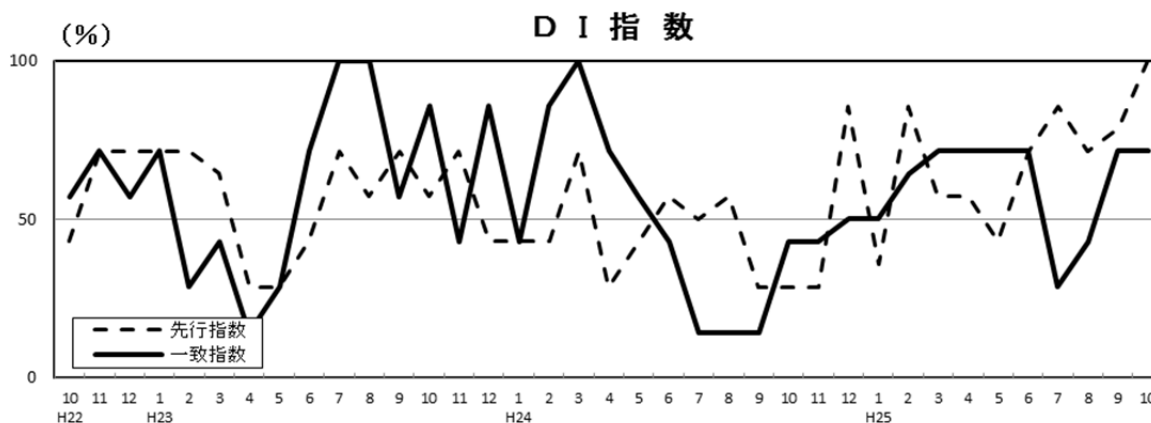
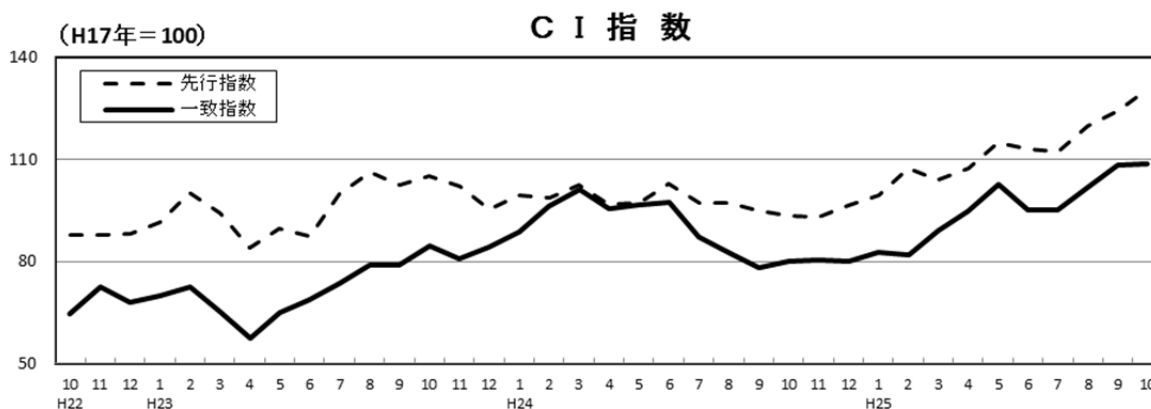
DI一致指数は71.4%となり、景気判断の分かれ目となる50%ラインを2か月連続で上回った。

		H25年7月	8月	9月	10月
CI一致指数	指数	95.1	102.1	108.5	108.8
	前月差、ポイント	0.0	7.0	6.4	0.3
3か月後方移動平均	指数	97.6	97.4	101.9	106.5
	前月差、ポイント	0.2	▲0.1	4.5	4.6
7か月後方移動平均	指数	91.6	94.3	98.1	101.0
	前月差、ポイント	2.1	2.8	3.8	2.8
DI一致指数（%）	指数	28.6	42.9	71.4	71.4
	前月差、ポイント	▲42.8	14.3	28.5	0.0

・CI先行指数（判断時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は130.6となり、前月と比較して6.1ポイント上昇した。

DI先行指数は100.0%となり、景気判断の分かれ目となる50%ラインを5か月連続で上回った。

		H25年7月	8月	9月	10月
CI先行指数	指数	112.3	119.9	124.5	130.6
	前月差、ポイント	▲0.7	7.6	4.6	6.1
3か月後方移動平均	指数	113.3	115.1	118.9	125.0
	前月差、ポイント	1.6	1.7	3.8	6.1
7か月後方移動平均	指数	108.3	111.2	113.7	117.5
	前月差、ポイント	2.3	2.9	2.4	3.8
DI先行指数（%）	指数	85.7	71.4	78.6	100.0
	前月差、ポイント	14.3	▲14.3	7.2	21.4



4. 主要經濟指標

三重県

項目 年・月	総生産		景気動向		生産				個人消費			
	県内総生産 名目(実質)※年度値 (兆円)	経済成長率 名目(実質)※年度値 (%)	景気動向指数 【CI】(H17=100)		鉱工業生産指数 (季節調整済指数)		鉱工業生産者製品在庫指数 (季節調整済指数)		大口電力使用量 (中部電力株式会社分)		大型小売店販売額 (全店) (既存店調整値)	
			先行系列	一致系列	H22=100	対前月比	H22=100	対前月比	(百万KWH)	前年同月	(百万円)	前年同月
H20年	7.44(8.26)	▲9.2(▲4.5)	—	—	112.7	▲2.7	121.6	▲5.7	9,494	5.1	258,276	▲1.8
H21年	7.13(7.75)	▲4.1(▲6.2)	—	—	86.0	▲23.7	100.7	▲17.2	7,963	▲16.1	245,150	▲7.7
H22年	7.37(8.31)	3.4(7.3)	—	—	100.0	16.3	122.8	21.9	8,461	6.3	238,252	▲3.2
H23年	P 7.27(8.41)	P ▲1.3(1.2)	—	—	91.8	▲8.4	94.7	▲22.9	8,744	3.4	234,482	▲2.1
H24年	—	—	—	—	108.5	18.4	167.9	77.3	9,034	3.3	231,536	▲2.4
H23年10月	—	—	105.2	84.7	96.5	1.9	89.9	2.4	795	8.2	19,057	▲2.5
11月	—	—	102.1	80.9	85.6	▲11.3	88.1	▲2.0	756	4.3	19,306	▲4.5
12月	—	—	95.4	84.2	97.9	14.4	88.6	0.6	746	6.8	22,081	▲3.3
H24年1月	—	—	99.5	88.9	110.1	12.5	92.7	4.6	732	7.1	22,130	▲2.9
2月	—	—	98.9	96.1	111.5	1.3	100.7	8.6	735	10.1	18,709	▲1.7
3月	—	—	102.4	101.1	114.3	2.5	110.6	9.8	766	7.9	17,708	0.5
4月	—	—	97.0	95.5	110.6	▲3.2	116.6	5.4	716	8.4	18,240	▲5.2
5月	—	—	97.3	96.8	107.4	▲2.9	114.9	▲1.5	737	10.9	18,623	1.0
6月	—	—	102.8	97.3	118.8	10.6	116.3	1.2	767	3.4	18,638	▲4.1
7月	—	—	97.1	87.3	105.6	▲11.1	122.9	5.7	813	3.6	18,887	▲6.6
8月	—	—	97.2	82.9	100.6	▲4.7	132.4	7.7	777	1.9	19,583	▲1.2
9月	—	—	94.8	78.3	98.8	▲1.8	153.8	16.2	778	0.7	17,534	▲4.7
10月	—	—	93.6	80.1	108.3	9.6	161.5	5.0	778	▲2.2	18,608	▲5.5
11月	—	—	93.2	80.4	111.4	2.9	161.6	0.1	731	▲3.3	19,850	0.2
12月	—	—	96.5	80.1	100.5	▲9.8	157.2	▲2.7	706	▲5.4	23,026	1.7
H25年1月	—	—	99.3	82.7	110.7	10.1	126.0	▲19.8	702	▲4.0	20,907	▲7.8
2月	—	—	107.5	81.9	103.5	▲6.5	121.7	▲3.4	677	▲7.9	17,443	▲8.6
3月	—	—	103.9	89.0	111.9	8.1	121.2	▲0.4	737	▲3.8	18,676	2.9
4月	—	—	107.4	94.6	116.2	3.8	121.6	0.3	713	▲0.4	18,705	▲0.3
5月	—	—	114.8	102.5	117.6	1.2	116.7	▲4.0	724	▲1.7	19,080	▲0.9
6月	—	—	113.0	95.1	110.5	▲6.0	117.9	1.0	758	▲1.2	19,896	3.3
7月	—	—	112.3	95.1	112.9	2.2	109.3	▲7.3	821	1.0	22,218	1.5
8月	—	—	119.9	102.1	115.6	2.4	104.3	▲4.6	779	0.4	22,356	▲1.3
9月	—	—	124.5	108.5	123.3	6.7	107.5	3.1	781	0.4	20,098	1.3
10月	—	—	130.6	108.8	108.0	▲12.4	101.2	▲5.9	802	3.1	21,198	1.4

全 国

項目 年・月	総生産		景気動向		生産				個人消費			
	国内総生産(支出側) 名目(実質)※年度値 (兆円)	経済成長率 名目(実質)※年度値 (%)	景気動向指数 【CI】(H22=100)		鉱工業生産指数 (季節調整済指数)		鉱工業生産者製品在庫指数 (季節調整済指数)		大口電力使用量 (9電力会社計)		大型小売店販売額 (全店) (既存店調整値)	
			先行系列	一致系列	H22=100	対前月比	H22=100	対前月比	(百万KWH)	前年同月	(億円)	前年同月
H20年	490(506)	▲4.6(▲3.7)	—	—	110.7	▲3.4	121.9	4.8	297,782	0.9	209,511	▲2.4
H21年	474(495)	▲3.2(▲2.0)	—	—	86.5	▲21.9	100.5	▲17.6	250,918	▲15.7	197,758	▲7.0
H22年	480(512)	1.3(3.4)	—	—	100	15.6	102.9	2.4	278,761	11.1	193,792	▲2.6
H23年	r 474(514)	r ▲1.4(0.3)	—	—	97.2	▲2.8	105	2.0	270,549	▲2.9	195,936	▲1.8
H24年	r 473(517)	▲0.2(0.7)	—	—	97.8	0.6	110.5	5.2	267,749	▲1.0	195,935	▲0.8
H23年9月	474(515)	r 2.1(2.6)	101.9	102.9	99.5	▲0.9	106.8	0.0	23,394	▲5.7	14,728	▲3.6
10月	r 476(517)	0.3(0.3)	101.9	104.6	101.3	1.8	106.8	0.0	23,189	▲3.2	16,057	▲1.4
11月			101.5	103.7	99.1	▲2.2	106.4	▲0.4	22,446	▲2.3	16,370	▲2.5
12月			101.8	105.6	101.1	2.0	104.5	▲1.8	22,141	▲3.9	20,910	▲0.3
H24年1月	r 479(521)	0.8(0.9)	102.6	105.6	101.5	0.4	105.5	1.0	21,562	▲5.2	17,383	▲1.2
2月			104.2	106.3	101.3	▲0.2	106.9	1.3	21,983	▲0.7	14,659	0.2
3月			104.3	107.5	101.1	▲0.2	109.6	2.5	22,789	6.8	16,032	5.1
4月	r 475(519)	r ▲1.0(▲0.5)	104.1	107.0	100.6	▲0.5	111.9	2.1	21,930	5.1	15,664	▲0.6
5月			103.4	106.3	98.8	▲1.8	110.0	▲1.7	22,046	1.9	15,753	▲0.8
6月			102.2	104.6	98.0	▲0.8	110.2	0.2	22,933	▲2.0	15,682	▲2.6
7月	r 470(515)	r ▲1.0(▲0.8)	101.2	103.5	97.5	▲0.5	111.8	1.5	23,683	▲1.7	17,123	▲4.4
8月			100.9	103.0	96.1	▲1.4	112.2	0.4	22,864	▲1.4	15,568	▲0.9
9月			99.9	101.3	94.0	▲2.2	112.2	0.0	22,928	▲2.0	14,705	▲1.1
10月	r 471(515)	r 0.2(0.1)	100.0	101.1	94.3	0.3	112.2	0.0	22,428	▲3.3	15,678	▲3.2
11月			99.7	100.6	93.4	▲1.0	111.8	▲0.4	21,388	▲4.7	16,636	0.8
12月			100.7	102.3	94.7	1.4	110.4	▲1.3	21,216	▲4.2	21,052	0.1
H25年1月	r 474(521)	r 0.7(1.1)	103.1	102.5	94.1	▲0.6	108.6	▲1.6	20,717	▲3.9	16,872	▲3.5
2月			105.3	103.5	94.9	0.9	107.3	▲1.2	20,363	▲7.4	14,239	▲3.7
3月			106.2	104.4	95.0	0.1	106.6	▲0.7	21,647	▲5.0	16,598	2.5
4月	r 479(525)	r 0.9(0.9)	107.7	105.1	95.9	0.9	107.4	0.8	21,199	▲4.0	15,508	▲2.3
5月			110.7	106.0	97.7	1.9	107.0	▲0.4	21,643	▲1.8	15,889	▲0.4
6月			107.2	105.5	94.7	▲3.1	107.0	0.0	22,652	▲1.2	16,385	3.5
7月	r 480(527)	r 0.3(0.3)	107.9	107.7	97.9	3.4	108.7	1.6	23,865	0.8	17,127	▲1.6
8月			106.8	107.6	97.0	▲0.9	108.5	▲0.2	22,792	▲0.3	15,823	▲0.1
9月			109.2	108.4	98.3	1.3	108.3	▲0.2	22,669	▲1.1	15,059	0.7
10月	109.8	110.4	99.3	1.0	108.0	▲0.3	22,955	2.3	15,911	▲0.1		

三重県景気動向指数（CI） 平成 25 年 10 月分の概要

1. 景気動向指数（CI）の動向

平成 25 年 10 月の CI（平成 17 年=100）は、先行指数 130.6、一致指数 108.8、遅行指数 104.2 となった。

- ・ 先行指数は、前月と比較して 6.1 ポイント上昇した。3 か月後方移動平均は 6.09 ポイント上昇し 11 か月連続で上昇、7 か月後方移動平均は 3.81 ポイント上昇し 9 か月連続で上昇した。
- ・ 一致指数は、前月と比較して 0.3 ポイント上昇した。3 か月後方移動平均は 4.55 ポイント上昇し 2 か月連続で上昇、7 か月後方移動平均は 2.83 ポイント上昇し 8 か月連続で上昇した。
- ・ 遅行指数は、前月と比較して 1.7 ポイント上昇した。3 か月後方移動平均は 0.06 ポイント下降し 6 か月ぶりの下降、7 か月後方移動平均は 1.55 ポイント上昇し 3 か月連続で上昇した。

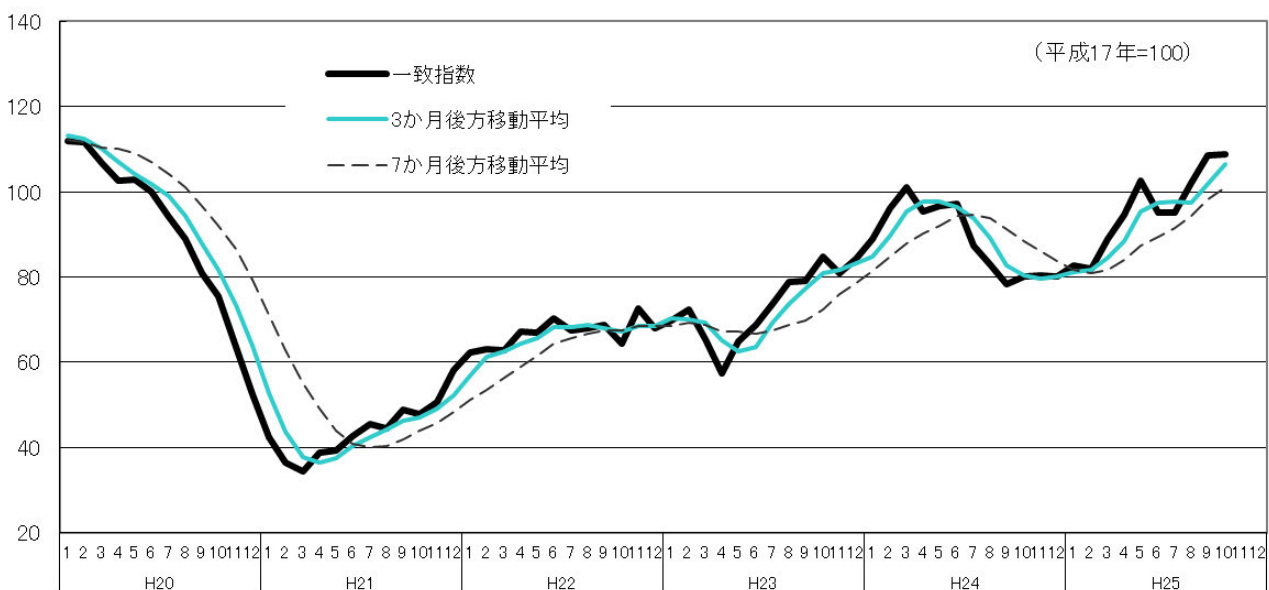
2. 一致指数の基調判断

景気動向指数（CI 一致指数）は、改善を示している。

3. 一致指数の個別系列ごとの寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C7: 所定外労働時間指数（製造業、5人以上）	3.16	C1: 鉱工業生産指数	▲ 4.45
C2: 大口電力使用量	2.49	C5: 建築着工床面積（鉱業、建設業+製造業）	▲ 1.70
C4: 有効求人倍率	0.84	C3: 輸入通関実績（四日市港）	▲ 0.18
C6: 大型小売店販売額（既存店、前年同月比）	0.04		

4. 一致指数の推移



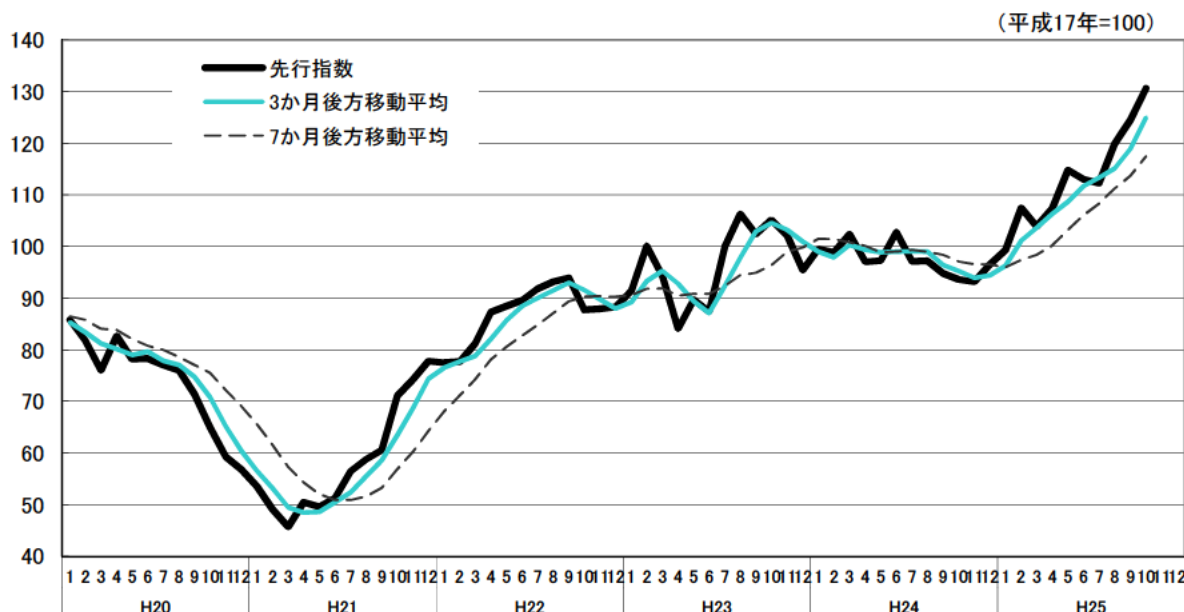
注1. 「3 か月後方移動平均」とは今月値を含む過去 3 か月分の平均値のことで足下の基調変化を表し、「7 か月後方移動平均」とは今月値を含む過去 7 か月分の平均値のことで定着しつつある基調を表す。

注2. 「CI を用いた基調判断」は、内閣府の判断基準に準じて行っている。詳細は「利用の手引き」を参照。

注3. CI の「寄与度」とは、CI の増減がどの採用系列の動きにより引き起こされているかの割合を表す。

1. CI先行指数の動向

(1) 先行指数の推移



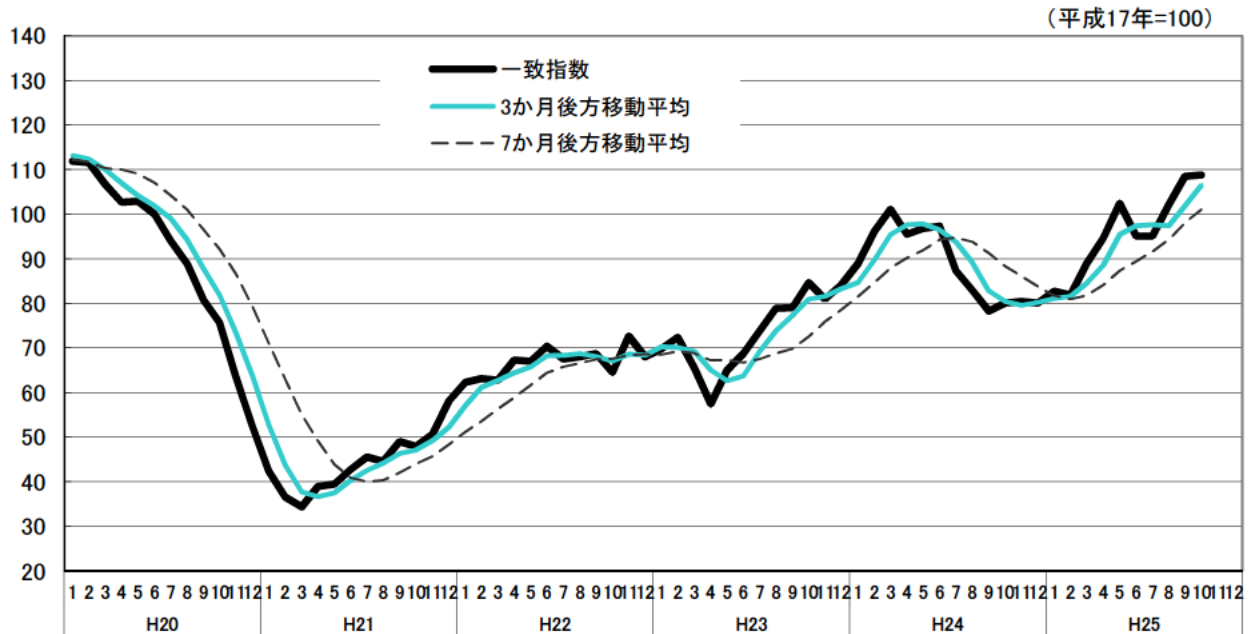
(2) 先行指数採用系列の寄与度

			平成25年 (2013年)					
			5月	6月	7月	8月	9月	10月
CI	先行指数		114.8	113.0	112.3	119.9	124.5	130.6
		前月差(ポイント)	7.4	▲ 1.8	▲ 0.7	7.6	4.6	6.1
L1	新規求人数	前月比伸び率(%)	5.8	▲ 3.3	1.0	6.9	▲ 8.1	2.7
		寄与度	1.71	▲ 1.26	0.16	2.06	▲ 3.25	0.77
L2	企業倒産件数	前月比伸び率(%)	▲ 23.1	▲ 20.0	37.5	▲ 27.3	0.0	25.0
		寄与度(逆サイクル)	0.90	0.76	▲ 1.14	1.17	0.01	▲ 0.94
L3	新車登録台数	前月比伸び率(%)	▲ 10.3	▲ 8.2	▲ 4.1	10.5	11.4	0.8
		寄与度	▲ 4.55	▲ 3.64	▲ 1.82	3.93	4.39	▲ 0.02
L4	新設住宅着工戸数	前月比伸び率(%)	7.1	6.1	▲ 2.4	▲ 13.1	21.3	11.5
		寄与度	1.15	1.06	▲ 0.20	▲ 1.90	3.29	1.95
L5	銀行貸出平残 (地域銀行、東海三県)	前月差	0.6	▲ 0.3	0.4	0.4	0.5	0.1
		寄与度	1.81	▲ 0.69	1.26	1.28	1.61	0.44
L6	景況感DI (前期比)	前月差	4.9	4.9	0.7	0.8	0.7	4.0
		寄与度	1.85	1.83	▲ 0.12	▲ 0.12	▲ 0.23	1.37
L7	日経商品指数 (42種総合)	前月差	4.4	0.4	1.4	1.3	▲ 0.9	2.3
		寄与度	4.79	0.57	1.67	1.60	▲ 1.08	2.82
一致トレンド成分								
		寄与度	▲ 0.28	▲ 0.41	▲ 0.48	▲ 0.42	▲ 0.16	▲ 0.30
3か月後方移動平均			108.7	111.7	113.3	115.1	118.9	125.0
		前月差(ポイント)	2.40	3.03	1.64	1.71	3.83	6.09
7か月後方移動平均			103.2	106.1	108.3	111.2	113.7	117.5
		前月差(ポイント)	3.02	2.83	2.26	2.94	2.42	3.81

(注) 逆サイクルとは、指数の上昇・下降の動きが景気の動きと反対になることをいう。逆サイクルの指標は、前月比伸び率がプラスになれば指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月差がマイナスになればプラス要因となる。
CI先行指数においては、L2が逆サイクルの性質を有している。

2. CI一致指数の動向

(1) 一致指数の推移

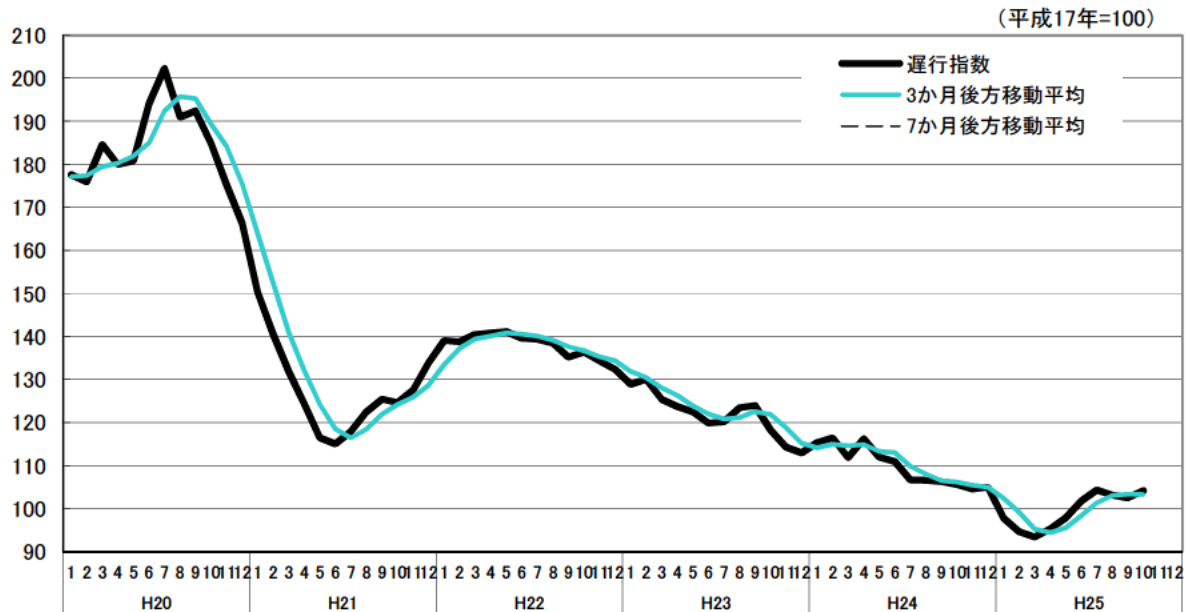


(2) 一致指数採用系列の寄与度

		平成25年 (2013年)						
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	
CI	一致指数	102.5	95.1	95.1	102.1	108.5	108.8	
	前月差(ポイント)	7.9	▲ 7.4	0.0	7.0	6.4	0.3	
C1	鉱工業生産指数	前月比伸び率(%)	1.2	▲ 6.0	2.2	2.4	6.7	▲ 12.4
	寄与度	0.78	▲ 3.93	1.34	1.50	4.21	▲ 4.45	
C2	大口電力使用量	前月比伸び率(%)	0.6	▲ 2.0	1.0	▲ 0.4	▲ 1.0	2.5
	寄与度	0.63	▲ 1.77	0.97	▲ 0.38	▲ 0.99	2.49	
C3	輸入通関実績 (四日市港)	前月比伸び率(%)	5.9	▲ 24.2	14.7	22.4	5.9	▲ 1.3
	寄与度	0.71	▲ 3.44	1.63	2.51	0.77	▲ 0.18	
C4	有効求人倍率	前月差	0.09	0.02	0.01	0.04	0.01	0.02
	寄与度	4.02	1.04	0.43	1.94	0.32	0.84	
C5	建築着工床面積 (鉱業、建設業用+製造業用)	前月比伸び率(%)	105.7	▲ 4.1	▲ 58.7	29.1	96.8	▲ 35.6
	寄与度	1.75	▲ 0.35	▲ 2.61	0.45	1.82	▲ 1.70	
C6	大型小売店販売額 (既存店調整値、前年同月比)	前月差	▲ 0.6	4.2	▲ 1.8	▲ 2.8	2.6	0.1
	寄与度	▲ 0.30	2.05	▲ 0.85	▲ 1.36	1.37	0.04	
C7	所定外労働時間指数 (製造業、5人以上の事業所)	前月比伸び率(%)	0.8	▲ 1.9	▲ 1.9	6.0	▲ 1.9	7.3
	寄与度	0.23	▲ 0.97	▲ 0.93	2.39	▲ 1.08	3.16	
3か月後方移動平均		95.4	97.4	97.6	97.4	101.9	106.5	
	前月差(ポイント)	6.86	2.04	0.15	▲ 0.11	4.48	4.55	
7か月後方移動平均		87.3	89.4	91.6	94.3	98.1	101.0	
	前月差(ポイント)	3.20	2.10	2.14	2.78	3.81	2.83	

3. CI遅行指数の動向

(1) 遅行指数の推移



(2) 遅行指数採用系列の寄与度

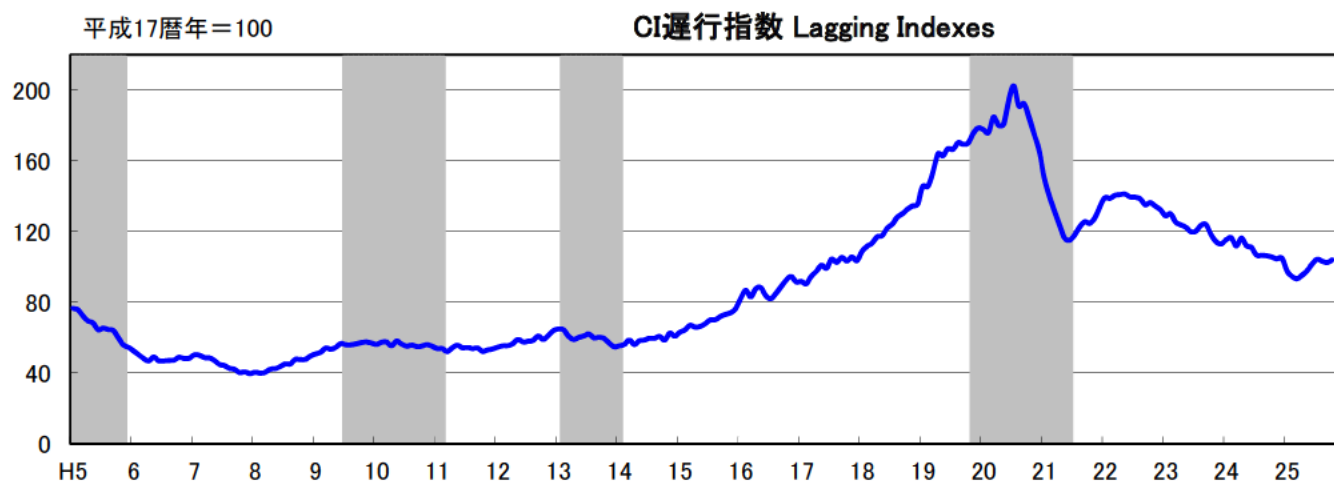
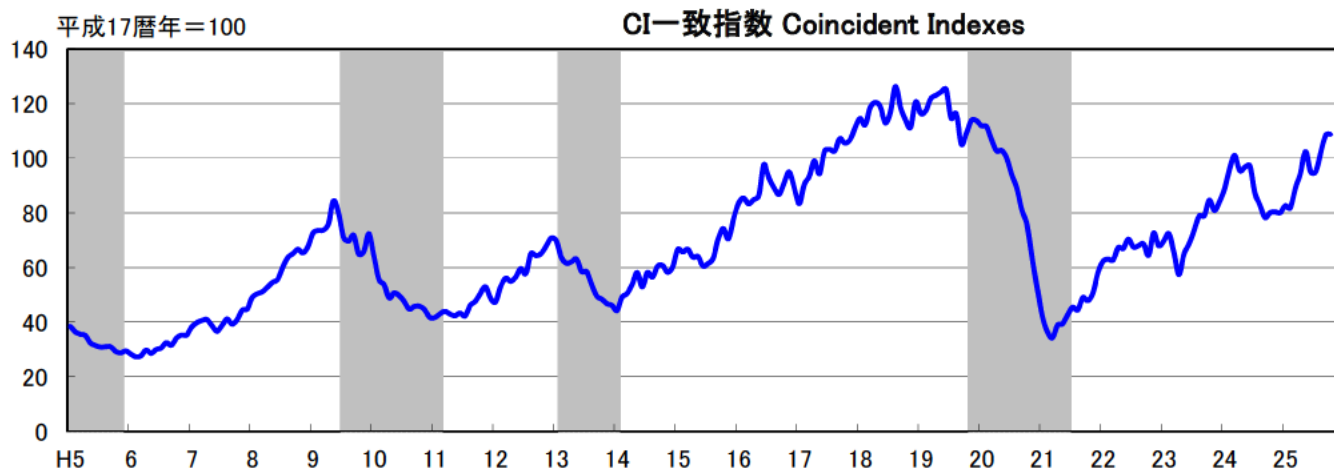
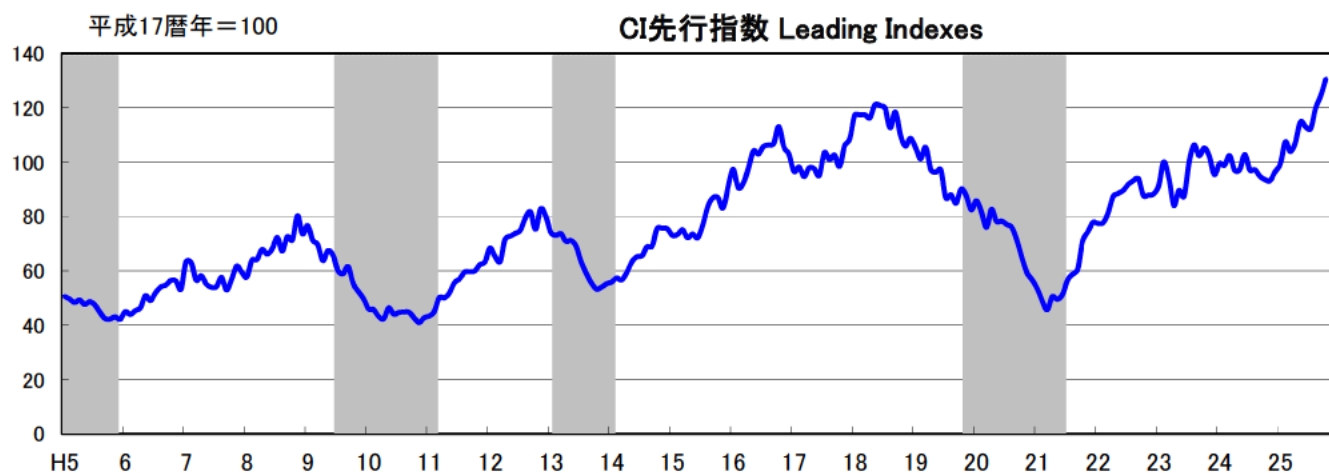
			平成25年 (2013年)					
			5月	6月	7月	8月	9月	10月
CI	遅行指数		97.9	101.8	104.4	103.2	r 102.5	104.2
		前月差(ポイント)	2.5	3.9	2.6	▲ 1.2	r ▲ 0.7	1.7
LG1	雇用保険受給者実人員	前月比伸び率(%)	▲ 1.7	▲ 6.0	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.0
		寄与度(逆サイクル)	0.67	2.07	0.20	▲ 0.05	r 0.19	0.28
LG2	常用雇用指数 (製造業、30人以上の事業所)	前月比伸び率(%)	0.2	0.5	4.3	▲ 0.6	▲ 0.8	0.5
		寄与度	0.51	1.30	2.34	▲ 1.53	r ▲ 2.00	1.32
LG3	法人事業税調定額	前月比伸び率(%)	11.3	▲ 8.2	▲ 23.9	41.8	▲ 12.0	8.3
		寄与度	0.59	▲ 0.48	▲ 1.57	2.13	r ▲ 0.73	0.50
LG4	貸出約定平均金利 (地元銀行4行、総合(ストック))	前月差	▲ 0.009	▲ 0.010	▲ 0.012	▲ 0.012	r ▲ 0.017	▲ 0.002
		寄与度	0.06	0.02	▲ 0.09	▲ 0.07	r ▲ 0.33	0.50
LG5	家計消費支出(津市) (二人以上の世帯、前年同月比)	前月差	▲ 6.9	▲ 5.6	15.7	▲ 18.3	27.7	▲ 14.0
		寄与度	▲ 0.43	▲ 0.34	0.99	▲ 1.15	r 1.71	▲ 0.90
LG6	消費者物価指数 (5市平均、前年同月比)	前月差	0.5	0.6	0.4	▲ 0.1	0.2	0.1
		寄与度	1.35	1.67	1.19	▲ 0.23	r 0.60	0.32
一致トレンド成分								
		寄与度	▲ 0.24	▲ 0.36	▲ 0.44	▲ 0.38	r ▲ 0.14	▲ 0.24
3か月後方移動平均			95.6	98.4	101.4	103.1	r 103.4	103.3
		前月差(ポイント)	1.06	2.80	3.01	1.74	r 0.22	▲ 0.06
7か月後方移動平均			98.4	98.0	97.9	98.7	r 99.8	101.3
		前月差(ポイント)	▲ 1.09	▲ 0.39	▲ 0.08	0.77	r 1.10	1.55

(注) 「r」は、改訂(revised)値を示す。

(注) 逆サイクルとは、指数の上昇・下降の動きが景気の動きと反対になることをいう。逆サイクルの指標は、前月比伸び率がプラスになれば指数に対する寄与度のマイナス要因となり、逆に前月差がマイナスになればプラス要因となる。

CI遅行指数においては、LG1が逆サイクルの性質を有している。

4. CI 時系列グラフ



(注1)シャドー部分は景気後退期を示す。

5. CI 指数表

(1) 先行指数

(平成17暦年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	55.9	57.4	56.7	59.4	63.3	65.2	65.6	68.9	69.1	75.6	75.7	75.5
15(2003)	73.1	73.4	75.1	72.2	73.6	72.2	76.9	83.7	86.9	86.9	83.1	90.9
16(2004)	97.4	90.6	92.3	97.7	104.1	103.0	105.8	106.3	106.8	113.1	105.6	103.0
17(2005)	96.6	98.2	94.7	97.9	97.6	95.1	103.5	100.9	102.6	98.4	106.0	108.5
18(2006)	117.3	117.4	117.4	116.3	121.1	120.8	119.8	112.6	118.5	110.2	105.9	108.8
19(2007)	105.3	101.2	105.5	97.3	96.3	97.2	86.8	88.0	84.9	90.1	87.7	82.5
20(2008)	85.8	81.8	76.0	82.7	78.2	78.3	77.1	76.0	71.4	65.0	59.3	56.8
21(2009)	53.6	49.1	45.7	50.5	49.6	51.3	56.5	58.8	60.6	71.1	74.3	77.8
22(2010)	77.5	77.7	81.2	87.3	88.5	89.6	91.8	93.2	93.9	87.7	87.9	88.3
23(2011)	91.4	100.1	94.3	84.1	89.7	87.4	99.9	106.3	102.4	105.2	102.1	95.4
24(2012)	99.5	98.9	102.4	97.0	97.3	102.8	97.1	97.2	94.8	93.6	93.2	96.5
25(2013)	99.3	107.5	103.9	107.4	114.8	113.0	112.3	119.9	124.5	130.6		

(2) 一致指数

(平成17暦年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	44.3	49.1	50.5	53.8	58.2	52.9	58.2	56.5	60.4	60.8	58.3	60.2
15(2003)	66.6	65.7	66.7	63.8	64.1	60.6	61.5	63.4	70.5	74.3	70.5	77.5
16(2004)	83.5	85.5	83.4	84.9	86.3	97.7	92.8	89.4	86.8	90.8	95.0	89.4
17(2005)	83.4	90.4	93.5	99.1	94.3	102.6	103.3	102.7	107.2	105.6	106.7	111.1
18(2006)	114.6	112.2	118.5	120.5	119.0	113.0	116.9	126.3	118.8	114.0	111.4	120.7
19(2007)	116.4	117.4	121.9	123.1	124.3	125.3	114.7	116.4	105.2	109.2	113.9	113.8
20(2008)	111.9	111.6	106.7	102.7	102.9	100.0	94.0	88.9	80.8	75.6	63.5	52.4
21(2009)	42.4	36.5	34.3	38.9	39.4	42.7	45.5	44.5	49.0	47.9	50.6	58.1
22(2010)	62.3	63.1	62.8	67.3	67.0	70.4	67.5	68.0	68.7	64.5	72.7	68.0
23(2011)	69.8	72.4	65.5	57.4	65.0	68.7	73.8	78.9	79.0	84.7	80.9	84.2
24(2012)	88.9	96.1	101.1	95.5	96.8	97.3	87.3	82.9	78.3	80.1	80.4	80.1
25(2013)	82.7	81.9	89.0	94.6	102.5	95.1	95.1	102.1	108.5	108.8		

(3) 遅行指数

(平成17暦年=100)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	55.4	56.2	58.7	56.1	58.3	58.7	59.7	59.7	60.7	58.7	62.6	60.9
15(2003)	63.1	64.4	67.0	66.0	66.4	67.9	70.1	70.2	72.0	73.2	74.1	76.4
16(2004)	82.1	86.8	83.1	87.7	88.3	83.7	82.1	85.1	88.8	92.5	94.6	91.5
17(2005)	91.8	90.5	94.8	97.6	101.0	99.3	104.4	102.6	105.4	103.4	105.6	103.6
18(2006)	108.8	111.7	113.5	117.1	117.8	122.0	124.3	128.2	130.1	132.7	134.5	135.6
19(2007)	145.6	145.5	153.2	163.9	162.9	166.9	166.5	170.3	169.3	170.2	175.5	178.6
20(2008)	177.6	176.0	184.7	180.0	180.8	194.1	202.3	191.0	192.4	184.8	175.3	166.3
21(2009)	150.4	140.5	131.8	124.4	116.5	115.1	118.0	122.5	125.5	124.7	127.6	133.9
22(2010)	139.1	138.8	140.5	140.9	141.2	139.6	139.4	138.5	135.2	136.4	134.3	132.4
23(2011)	128.9	130.1	125.4	123.8	122.5	119.9	120.2	123.5	124.0	118.3	114.3	113.0
24(2012)	115.4	116.5	111.9	116.3	112.0	111.0	106.7	106.6	106.3	105.6	104.6	105.0
25(2013)	97.8	94.7	93.4	95.4	97.9	101.8	104.4	103.2	r102.5	104.2		

(注) 「r」は、改訂(revised)値を示す。

三重県景気動向指数（DI） 平成 25 年 10 月分の概要

1. 景気動向指数（DI）

平成 25 年 10 月の DI は、先行指数 100.0%、一致指数 71.4%、遅行指数 50.0%となった。

	平成 25 年 7 月	8 月	9 月	10 月
先行指数	85.7%	71.4%	78.6%	100.0%
一致指数	28.6%	42.9%	71.4%	71.4%
遅行指数	66.7%	50.0%	r66.7%	50.0%

※ r は改訂値をあらわす

2. 景気の動向

一致指数（景気の現状を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月連続で上回った。

先行指数（評価時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 5 か月連続で上回った。

3. 個別系列の動き（3 か月前と対比）

(1) 先行系列

プラス指標…… 新規求人数（2 か月ぶり）企業倒産件数（2 か月ぶり）、自動車（新車）登録台数（2 か月連続）、新設住宅着工戸数（2 か月連続）、銀行貸出平残（4 か月連続）、景況感 DI（9 か月連続）、日経商品指数（6 か月連続）

(2) 一致系列

プラス指標…… 大口電力使用量（4 か月ぶり）、輸入通関実績（3 か月連続）、有効求人倍率（8 か月連続）、建築着工床面積（2 か月連続）、所定外労働時間指数（3 か月連続）

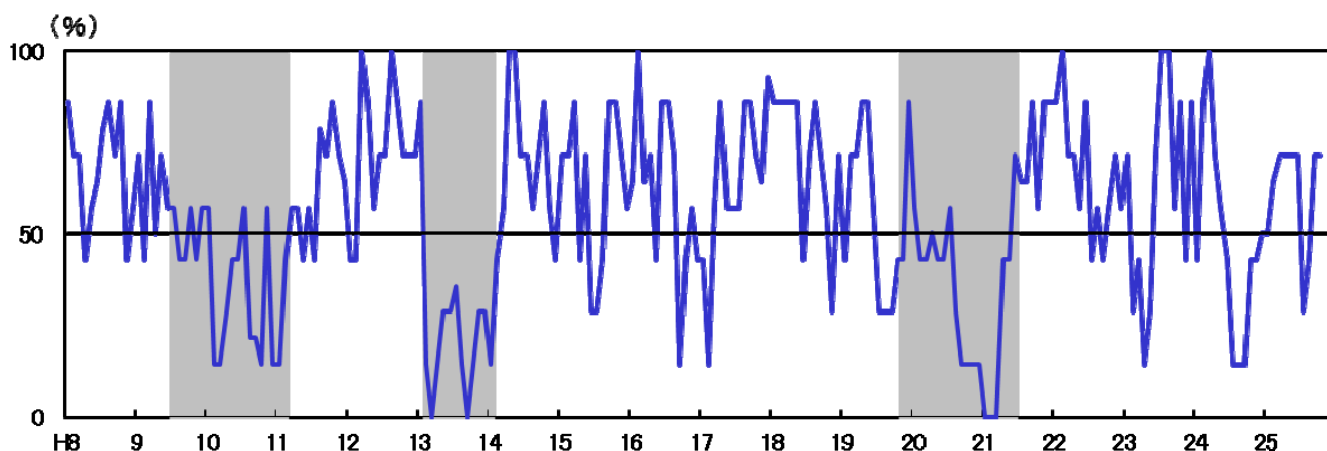
マイナス指標… 鉱工業生産指数（2 か月ぶり）、大型小売店販売額（3 か月連続）

(3) 遅行系列

プラス指標…… 雇用保険受給者実人員（7 か月連続）、法人事業税調定額（5 か月ぶり）、消費者物価指数（6 か月連続）

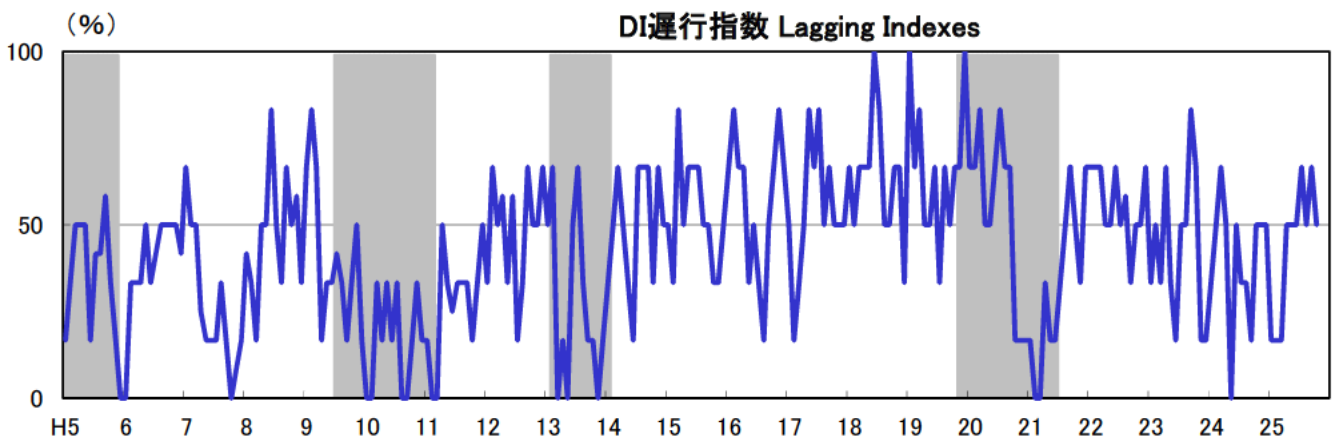
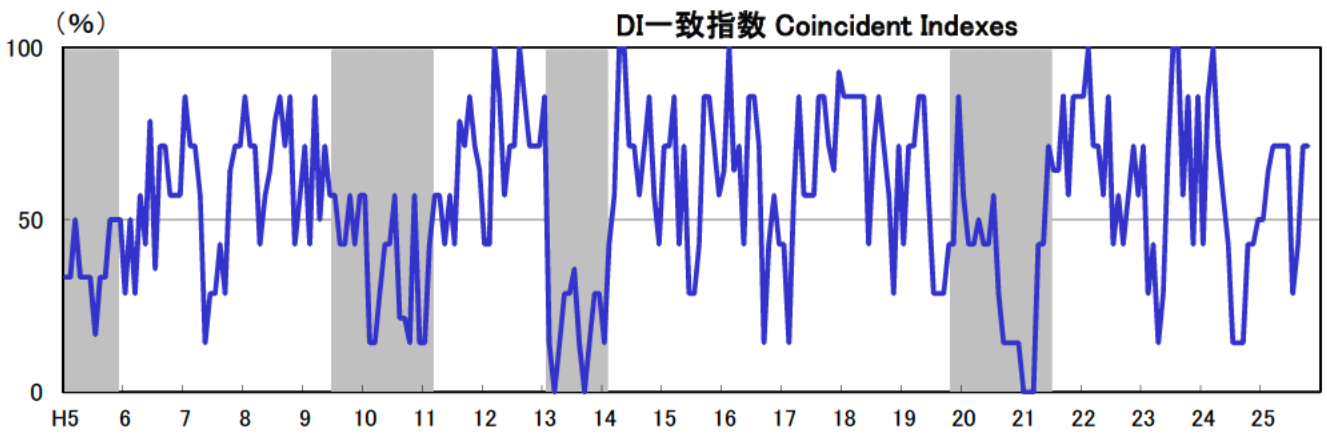
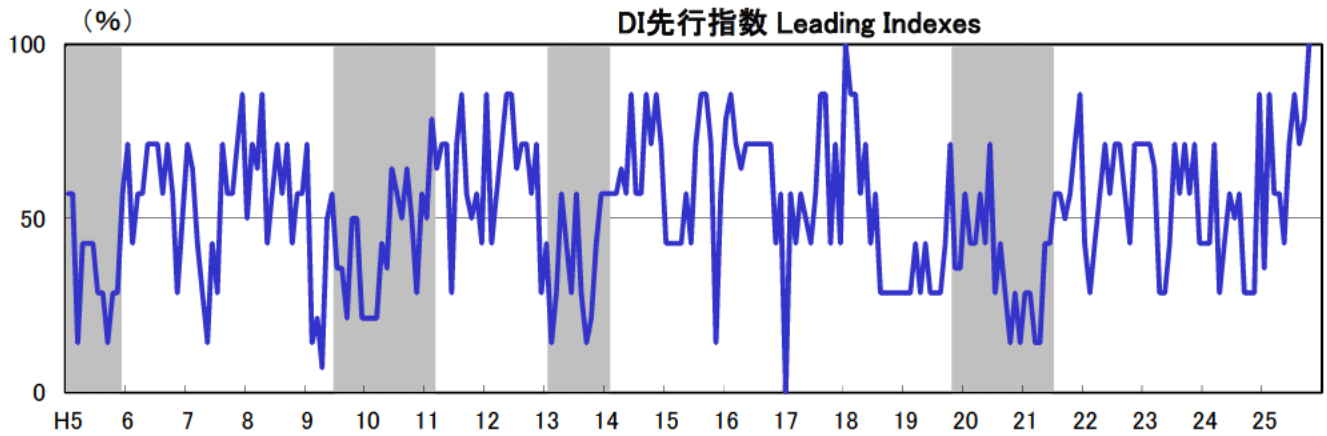
マイナス指標… 常用雇用指数（5 か月ぶり）、貸出約定平均金利（61 か月連続）、家計消費支出（2 か月ぶり）

4. DI 一致指数の推移



（注）DI とは Diffusion Index の略で、採用系列の各指標が判断時点の 3 か月前に比べて好転すればプラス、悪化すればマイナスとし、全体に占めるそれらの符号数の比率で景気の方向性を示す。

6. DI 時系列グラフ



(注1) シャドー部分は景気後退期を示す。

7. DI 指数表

(1) 先行指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	57.1	57.1	57.1	64.3	57.1	85.7	57.1	57.1	85.7	71.4	85.7	71.4
15(2003)	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	42.9	71.4	85.7	85.7	71.4	14.3	57.1
16(2004)	78.6	85.7	71.4	64.3	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4	42.9	57.1
17(2005)	0.0	57.1	42.9	57.1	50.0	42.9	57.1	85.7	85.7	42.9	71.4	42.9
18(2006)	100.0	85.7	85.7	57.1	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6
19(2007)	28.6	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	71.4	35.7	35.7
20(2008)	57.1	42.9	42.9	57.1	42.9	71.4	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3
21(2009)	28.6	28.6	14.3	14.3	42.9	42.9	57.1	57.1	50.0	57.1	71.4	85.7
22(2010)	42.9	28.6	42.9	57.1	71.4	57.1	71.4	71.4	57.1	42.9	71.4	71.4
23(2011)	71.4	71.4	64.3	28.6	28.6	42.9	71.4	57.1	71.4	57.1	71.4	42.9
24(2012)	42.9	42.9	71.4	28.6	42.9	57.1	50.0	57.1	28.6	28.6	28.6	85.7
25(2013)	35.7	85.7	57.1	57.1	42.9	71.4	85.7	71.4	78.6	100.0		

(2) 一致指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	14.3	42.9	57.1	100.0	100.0	71.4	71.4	57.1	71.4	85.7	57.1	42.9
15(2003)	71.4	71.4	85.7	42.9	71.4	28.6	28.6	42.9	85.7	85.7	71.4	57.1
16(2004)	64.3	100.0	64.3	71.4	42.9	85.7	85.7	71.4	14.3	42.9	57.1	42.9
17(2005)	42.9	14.3	57.1	85.7	57.1	57.1	57.1	85.7	85.7	71.4	64.3	92.9
18(2006)	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7	42.9	71.4	85.7	71.4	57.1	28.6	71.4
19(2007)	42.9	71.4	71.4	85.7	85.7	57.1	28.6	28.6	28.6	42.9	42.9	85.7
20(2008)	57.1	42.9	42.9	50.0	42.9	42.9	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3
21(2009)	0.0	0.0	0.0	42.9	42.9	71.4	64.3	64.3	85.7	57.1	85.7	85.7
22(2010)	85.7	100.0	71.4	71.4	57.1	85.7	42.9	57.1	42.9	57.1	71.4	57.1
23(2011)	71.4	28.6	42.9	14.3	28.6	71.4	100.0	100.0	57.1	85.7	42.9	85.7
24(2012)	42.9	85.7	100.0	71.4	57.1	42.9	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	50.0
25(2013)	50.0	64.3	71.4	71.4	71.4	71.4	28.6	42.9	71.4	71.4		

(3) 遅行指数

(単位:%)

年/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H14(2002)	33.3	50.0	66.7	50.0	33.3	16.7	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	50.0
15(2003)	50.0	33.3	83.3	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	50.0	33.3	33.3	50.0
16(2004)	66.7	83.3	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	16.7	50.0	66.7	83.3	66.7
17(2005)	50.0	16.7	33.3	50.0	83.3	66.7	83.3	50.0	66.7	50.0	50.0	50.0
18(2006)	66.7	50.0	66.7	66.7	66.7	100.0	83.3	50.0	50.0	66.7	66.7	33.3
19(2007)	100.0	66.7	83.3	50.0	50.0	66.7	33.3	66.7	50.0	66.7	66.7	100.0
20(2008)	66.7	66.7	83.3	50.0	50.0	66.7	83.3	66.7	66.7	16.7	16.7	16.7
21(2009)	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0	66.7	50.0	33.3	66.7
22(2010)	66.7	66.7	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	58.3	33.3	50.0	50.0	66.7
23(2011)	33.3	50.0	33.3	66.7	33.3	16.7	50.0	50.0	83.3	66.7	16.7	16.7
24(2012)	33.3	50.0	66.7	50.0	0.0	50.0	33.3	33.3	16.7	50.0	50.0	50.0
25(2013)	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	50.0	66.7	50.0	r 66.7	50.0		

(注) 「r」は、改訂(revised)値を示す。

9. DI 変化方向表

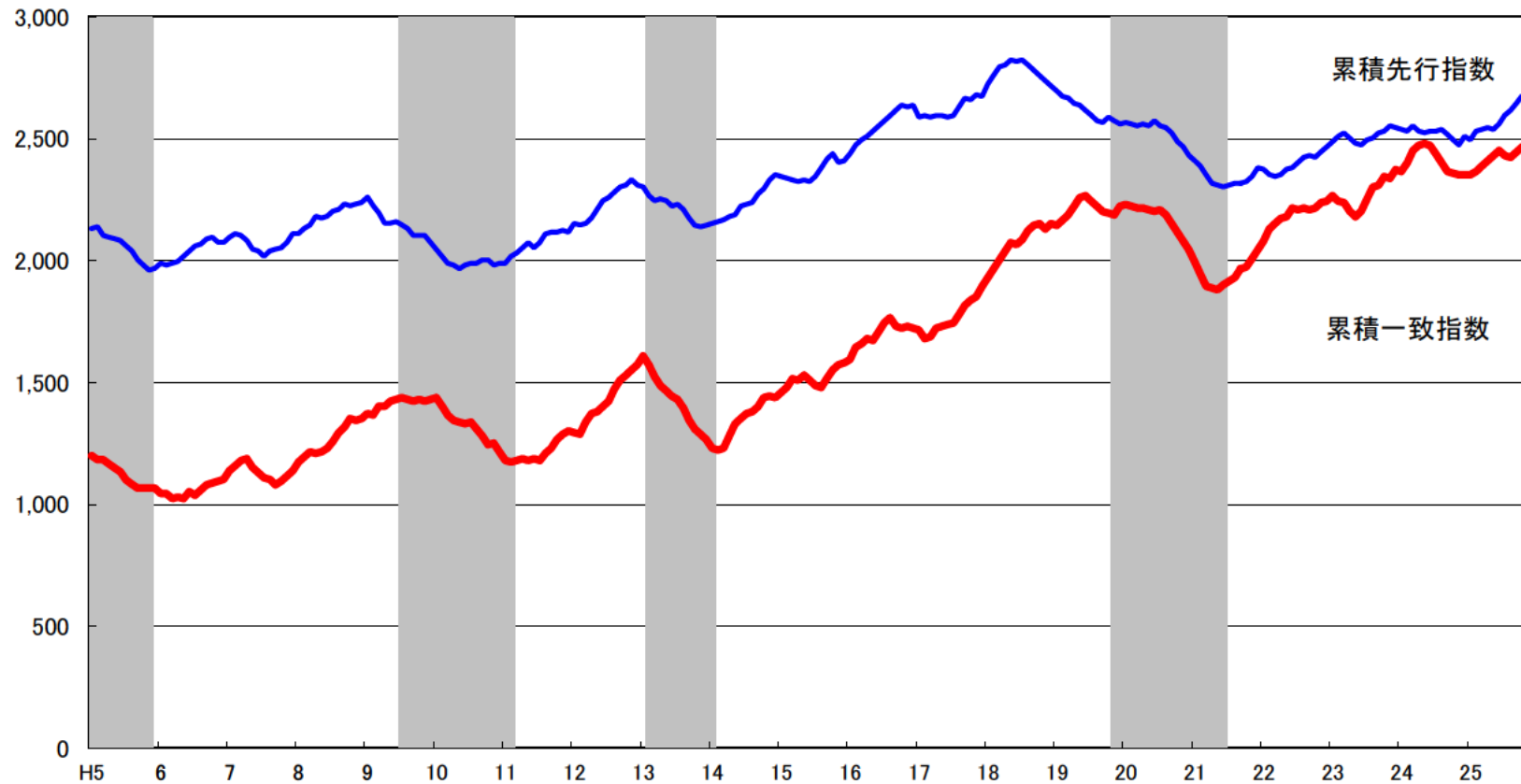
	系列名	季節調整等	平成24年			平成25年									
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
先行系列	L1 新規求人数	センサス局法	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-	+
	L2 企業倒産件数 *	原数値	+	+	+	0	+	-	-	-	+	+	+	0	+
	L3 自動車(新車)登録台数	センサス局法	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+
	L4 新設住宅着工戸数	センサス局法	-	-	+	-	+	+	+	-	+	+	-	+	+
	L5 銀行貸出平残(地域銀行、東海三県)	センサス局法	-	-	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
	L6 景況感DI(前期比)	原数値	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	L7 日経商品指数(42種総合)	前年同月比	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	+
	拡張系列数		2.0	2.0	6.0	2.5	6.0	4.0	4.0	3.0	5.0	6.0	5.0	5.5	7.0
	採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数		28.6	28.6	85.7	35.7	85.7	57.1	57.1	42.9	71.4	85.7	71.4	78.6	100.0
(参考)先行指数 [全国]		31.8	40.9	81.8	68.2	90.9	90.9	81.8	90.9	54.5	63.6	36.4	81.8	80.0	
一致系列	C1 鉱工業生産指数	センサス局法	+	+	+	+	-	+	+	+	-	-	-	+	-
	C2 大口電力使用量	センサス局法	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+
	C3 輸入通関実績(四日市港)	センサス局法	-	+	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+
	C4 有効求人倍率	センサス局法	-	-	0	0	0	+	+	+	+	+	+	+	+
	C5 建築着工床面積(鉱業、建設業用+製造業用)	センサス局法	+	-	+	+	+	-	-	-	+	-	-	+	+
	C6 大型小売店販売額(既存店)	前年同月比	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-
	C7 所定外労働時間指数(製造業5人以上)	センサス局法	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+
	拡張系列数		3.0	3.0	3.5	3.5	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	2.0	3.0	5.0	5.0
	採用系列数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数		42.9	42.9	50.0	50.0	64.3	71.4	71.4	71.4	71.4	28.6	42.9	71.4	71.4
(参考)一致指数 [全国]		31.8	27.3	81.8	72.7	81.8	81.8	81.8	90.9	54.5	81.8	45.5	81.8	90.0	
遅行系列	LG1 雇用保険受給者実人員 *	センサス局法	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+
	LG2 常用雇用指数(製造業30人以上)	センサス局法	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-
	LG3 法人事業税調定額(法人事業税+地方法人特別税)	センサス局法	-	+	+	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+
	LG4 貸出約定平均金利(地元地銀4行・総合ストック)	原数値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	LG5 家計消費支出(二人以上の世帯・津市)	前年同月比	+	-	+	-	+	-	+	-	-	+	-	+	-
	LG6 消費者物価指数(5市平均)	前年同月比	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+
	拡張系列数		3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	3.0	3.0	3.0	4.0	3.0	r 4.0	3.0
	採用系列数		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	r 6	6
	遅行指数		50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	50.0	66.7	50.0	r 66.7	50.0
	(参考)遅行指数 [全国]		66.7	33.3	66.7	50.0	50.0	66.7	66.7	66.7	66.7	50.0	50.0	66.7	60.0

(注) 「r」は、改訂(revised)値を示す。

(注) 変化の方向を見る+、0、-は、当月の数値と3ヵ月前の数値を比較したものである。(増加した時+、保ち合いの時0、減少した時-)

(注) *は、逆サイクル(景気の動きに対して逆の動き)を示す。

10. 累積 DI 指数グラフ Cumulated Diffusion Indexes



(注1) シャドー部分は景気後退期を示す。

※1 累積指数は、各月のDI指数を次の式により累積したものである。

$$(\text{累積DI})_t = (\text{累積DI})_{t-1} + (\text{DI} - 50)$$

※2 グラフ中の先行指数には、2000を加算している。

11. 景気動向指数の利用の手引き

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標である。

CI（コンポジット・インデックス）は採用系列の変化率を合成・累積することにより、景気変動の大きさやテンポといった量感の把握を目的とし、DI（ディフュージョン・インデックス）は採用系列の変化方向を合成することにより、景気の波及・浸透度合いや景気転換点（景気の山・谷）の判定等に用いることを目的とする。

CI・DIとも、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数、の3指数がある。三重県では、現在CIに採用している採用系列はDIと共通であり、先行指数7、一致指数7、遅行指数6の20系列で作成している（全国は先行11、一致11、遅行6の28系列）。

(1) CIの概要と利用の仕方

<目的>

CIは景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標で、景気変動の大きさやテンポといった量感を測定することを目的とする。

<作成方法>

内閣府経済社会総合研究所の作成方法（「内閣府経済社会総合研究所景気統計部 第9次改定後の計算方法」）に準拠している。詳しい計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ内「統計の作成方法」のページ（<http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di3.html#2>）を参照されたい。

ただし、閾値の算出、外れ値の刈り込みにあたって用いるデータの期間は、昭和53年1月から平成24年12月としており、閾値は1.897に設定している。

<利用の仕方>

一般に、一致指数が上昇しているときに景気の拡張局面、低下しているときに後退局面、一致指数の山（谷）の近くに景気の山（谷）が存在するといわれるように、一致指数の数値の変化の大きさが景気の拡張・後退のテンポあらわす。また、その時々々の量感をグラフなどで視覚的に観察しやすくなっている。ただし、景気が拡張（後退）局面にあるのか、景気の転換点がどこにあるのかなどについては、後述のDIと合わせて判断するのが望ましい。（正確な景気の山・谷（景気基準日付）については、ヒストリカルDIに基づいて設定される。詳細は専用のページ<http://www.pref.mie.jp/DATABOX/keizai/di/hdi.htm>を参照されたい。）

また、CIが上昇（低下）しても、その期間が極めて短い場合は景気拡張（後退）とみなすのは適当でなく、景気が拡張から後退もしくはその逆方向に動いたと判断するためには、CIが一定の大きさで変動することが求められる。（詳細は、後述の「12. CIを用いた景気判断の基準」を参照されたい。）さらに、CIは、景気に敏感に反応するという観点から選ばれた指標の変化量を合成し

たものであり、経済活動を網羅的に把握したものではないことに留意する必要がある。

CI の基調は、一致指数の動きをみることで判断するが、月々の動きについては極端な外れ値の影響は除かれているものの、不規則な動きも含まれていることから、移動平均値を取ることで月々の動きをならして見ることが望ましい。具体的には、足下の基調変化をあらわす「3 か月後方移動平均」と、基調変化が定着しつつあることをあらわす「7 か月後方移動平均」を加味し、総合的に判断する。

(2) DI の概要と利用の仕方

<目的>

DI は景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇（拡張）を示している指標の割合を示すものであり、景気の波及・浸透度合いや景気局面の変化を判定することを目的とする。

また、ヒストリカルDI を用いて景気転換点（景気の山・谷）の判定を行う。

<作成方法>

採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加したときには+、保ちあいの時には0、減少したときは-、という変化方向をつけ、先行・一致・遅行の指数ごとに、採用系列数に占める拡張系列数（+となった数）の割合（%）をDIとする。

$$DI = (\text{拡張系列数} + \text{保ちあい系列数} \times 0.5) / \text{採用系列数} \times 100 \quad (\%)$$

<利用の仕方>

一般的に、先行指数は一致指数に数か月先行することから、景気の動きを予知し、遅行指数は一致指数に数か月から半年程度遅行することから、景気の転換点や局面の確認に利用する。

景気の良し悪しを判断するには一応50%ラインを目安にしているが（上回れば拡張局面、下回れば後退局面）、近年、部門間のばらつきも目立っており、景気局面を判断するには、大半の部門に景気変動が波及している（DIが100%あるいは0%に近い）ことを確認することが必要である。

ただし、DIは変化率を合成したものではないので、DIの水準自体の変化は景気変動の大きさないし振幅とは直接的には関係ない。

(3) CI と DI の違い

以上のように、CIが景気の山の高さや谷の深さ、拡張や後退の勢いといった景気の「量感」を示す指数であるのに対し、DIは景気局面判定に用いる指数である。

CIは景気変動の大きさやテンポを比較する量的な分析に活用され、一方のDIは景気局面や景気転換点を判断する質的な分析に活用されるものとそれぞれは位置づけられることから、両者を相互補完的に利用することで景気変動をよりの確にとらえることができる。

※ 本手引きは、内閣府経済社会総合研究所が作成した手引きの一部を抜粋、加工して作成したものです。

12. CIを用いた景気の基調判断の基準

- (1) 当月 CI の前月差は一時的な要因に左右され安定しないため、3か月後方移動平均と7か月後方移動平均の前月差を中心に「基調」を判断する。
- (2) 当月 CI の変化方向（前月差の符号）が「基調」と同方向であることを前提とする。
- (3) 各移動平均の変化方向（前月差の符号）に加え、過去3か月間の累積前月差を加味する。

《基調判断の定義と基準》

基調判断	定義	基準
① 改善	景気 拡張 の可能性が高いことを示す。	原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が 上昇 した場合。
② 足踏み	景気 拡張 の動きが 足踏み状態 になっている可能性が高いことを示す。	3か月後方移動平均 の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。
③ 局面変化	事後的に判定される景気の 山・谷 が、 それ以前の数か月にあった可能性 が高いことを示す。	7か月後方移動平均 の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。
④ 悪化	景気 後退 の可能性が高いことを示す。	原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が 下降 した場合。
⑤ 下げ止まり	景気 後退 の動きが 下げ止まっている 可能性が高いことを示す。	3か月後方移動平均 の符号が変化し、1か月、2か月、または3か月の累積で1標準偏差分以上逆方向に振れた場合。

- ※ 「改善（足踏み）」または「悪化（下げ止まり）」という基調判断に続いて、同方向の「局面変化」に該当することとなった場合、「局面変化」は適用しない。
- ※ 景気拡張期（①改善及び②足踏み）から景気後退期（④悪化及び⑤下げ止まり）へ変化する際は、「局面変化」（上方）を経て進んでいくこととする。景気後退期から景気拡張期への変化も同様とする。なお、「改善（足踏み）」から「局面変化」に移行した時点で、既に景気後退局面に入った可能性が高いことを暫定的に示している。同様に「悪化（下げ止まり）」から「局面変化」に移行した時点で、既に景気拡張局面に入った可能性が高いことを暫定的に示している。
- ※ ①～⑤に該当しない場合は、前月の基調判断を踏襲する。ただし、特記すべき事項があれば付記する。
- ※ 定義の欄の「景気拡張」及び「景気後退」については、すべて暫定的なものとする。正式な景気循環（景気基準日付）については、一致CIの各採用系列から作られるヒストリカルDI等に基づき、設定するものである。

◆ 三重県一致CIの「振幅」の目安(標準偏差)

前月差	4.14
3か月後方移動平均	2.62
7か月後方移動平均	2.04

(平成元年1月から平成24年12月まで)

- ※ 当該基準は、内閣府の判断基準に準じており、三重県一致CIの「振幅」の目安については県値を用いて独自に推計しました。